

**沖縄における鉄軌道をはじめとする新たな公共交通
システムに係る県民意識等実態把握調査報告
(平成 25 年度)**

平成 26 年 3 月

内閣府

目次

序章 調査概要.....	1
1.調査概要.....	1
1-1.調査目的.....	1
1-2.調査対象地区.....	1
2.実施方針.....	2
2-1.調査の進め方.....	2
第1章 意識調査の実施.....	3
1.県民調査の実施.....	4
1-1 調査概要.....	4
1-2 調査実施.....	8
2.観光客調査（外国人）の実施.....	9
2-1 調査概要.....	9
2-2 調査実施.....	11
3.観光客調査（旅行関係業者等）の実施.....	12
3-1 調査概要.....	12
3-2 調査実施.....	13
4.企業調査の実施.....	14
4-1 調査概要.....	14
4-2 調査実施.....	18
5.意識調査結果のとりまとめ.....	19
5-1 現状の移動実態の把握.....	19
5-2 既存の公共交通の問題点.....	21
5-3 鉄軌道の利用意向と利用条件.....	22
5-4 鉄軌道の効果と連携方策.....	28
5-5 鉄軌道の利用促進策.....	33
5-6 自由意見.....	34
第2章 タウンミーティング等の実施.....	35
1.タウンミーティング実施計画の策定.....	35
1-1 タウンミーティングプログラムの作成.....	35
1-2 開催地の選定.....	35
1-3 パネルディスカッション登壇者の選定.....	36
2.パンフレット作成.....	37
2-1 平成24年度検討結果パンフレット.....	37
2-2 平成25年度調査結果パンフレット.....	38
3.広報の実施.....	39

4.タウンミーティングの開催	40
4-1 糸満会場	40
4-2 那覇会場	41

序章 調査概要

1. 調査概要

1-1. 調査目的

沖縄県の交通体系については、自動車への依存度が高く、渋滞による経済的損失、公共交通の利便性の問題など、様々な課題を抱えている。これらの課題を解決し、沖縄本島内の均衡ある発展を図るため、沖縄県が策定した「沖縄 21 世紀ビジョン」においても、「中南部都市圏を縦貫し、北部県域に至る軌道系を含む新たな公共交通システムの導入が必要である」と盛り込まれるなど、県内における新たな公共交通システムへの期待感が高まりつつある。

他方、新たな公共交通システムの検討にあたっては、主要な利用者となる沖縄県民等の意識実態を詳細に把握し、その実態を踏まえた検討を進めていくとともに、これまでの調査結果の周知や公共交通の利用促進のための県民意識の啓発に努める必要がある。

そのため、昨年度に引き続き、平成 25 年度の本調査では、主に、アンケートによる県民意識調査とタウンミーティングによる県民意識啓発を行うこととし、県民へのアンケート調査等を通じて、県民の交通・周遊行動の把握、公共交通システム全般に対する意見・要望の把握、新たな公共交通システムに対する転換意向の把握を行うとともに、タウンミーティングを県内で 2 回実施して、県民意識の啓発に努める。

1-2. 調査対象地区

本調査は鉄軌道をはじめとする新たな公共交通システムの導入が検討されている沖縄本島全域を調査対象とする。

図 序章 -1. 調査対象地域



2. 実施方針

2-1. 調査の進め方

本調査は以下の手順で進めた。

図 序章 -2.業務実施フロー

1. 鉄軌道等新たな公共交通システムの検討状況の把握

